

対象校No. 994

注4

学校コード F140110110592

注3

設置年度 令和 7年度

計画の区分： 研究科等連係課程実施基本組織の設置

注1

事前相談

注2

九州大学大学院 人文情報連係学府（修士課程）

**【事前相談】 設置に係る設置計画履行状況報告書
（改正後大学設置基準適用）**

国立大学法人九州大学
令和7年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名	人文社会科学系事務部総務課
職名・氏名	カカリチョウバタカस्ताカ 係長・小島一孝
電話番号	092-802-6302
（夜間）	092-802-6302
e-mail	jbssyomu1@jimu.kyushu-u.ac.jp

（注）1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部 □□学科

（旧名称：◇◇学科（平成◇◇年度より学科名称変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

- ・大学の設置の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻（修士課程）」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

4 対象校No.については、「【別紙】令和7年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、該当番号を記載してください。

目次

九州大学大学院人文情報連係学府

＜修士課程＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	11
4. 既設大学等の状況	12
5. 教育研究実施組織の状況	14
6. 附帯事項等に対する履行状況等	28
7. その他全般的事項	29

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人九州大学

(2) 大学名

九州大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒819-0395
福岡県福岡市西区元岡744

(注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。

・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(イハシ タツロウ) 石橋 達朗 (令和2年10月)		
学府長	(オジヨウ アキオ) 遠城 明雄 (令和7年4月)		
学科長等	-		

(注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を

()書きで記入してください。

(例) 令和6年度に報告する内容 → (6)

令和7年度に報告する内容 → (7)

・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。

・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注)・当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
 - ・様式は、令和2年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和7年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
 - ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「留学」の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生を記載してください。
 - ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
人文情報連係学府 修士（人文情報学）	文学関係	2 年	6 人	2年次 0 人 3年次 0 人 4年次 0 人	12 人	-	【基礎となる学部】文学部人文学科

- (注)・定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 - ・「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）又は（その2の2））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 - ・学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。）

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		春季入学以外の 学期区分について	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人 (-) [-]	人 (-) [-]	人 (-) [-]	人 (-) [-]	人 (-) [-]	人 (-) [-]	人 (-) [-]	人 (-) [-]	人 (-) [-]	人 (-) [-]	6 (-) [-]	人 (-) [-]	-	0.50倍	-	
志願者数	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	5 [4]	(-) []	春季入学以外の 入学時期と 入学定員内訳			
受験者数	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	5 [4]	(-) []	-			
合格者数	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	3 [2]	(-) []	-			
B 入学者数	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	3 [2]	(-) []	-			
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-

- (注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
 - ・（ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなど、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・転入学学生は記入しないでください。
 - ・[]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
 - ・「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出して下さい。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - ・報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択するとともに、下欄に、入学時期と入学定員の内訳（予定を含む）を記載してください。（春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択。）
 - ・「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和8年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
 - ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校」の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 - ・「(5) -② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[2]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
2 年次			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
			(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
3 年次					-	-	-	-	-	-	-	-	
					[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
					(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
4 年次							-	-	-	-	-	-	
							[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
							(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[2]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	

(注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ []内には、留学生の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ ()内には、留年者の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
- ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和7年度	3 人	0 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	- 人	- 人	
			令和7年度	0 人	0 人	
合計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。
 - ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生、転科生も含めて記入してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「修学意欲の低下 (○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例) ・修学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和7年度】

$$\frac{\text{令和7年度の退学者数 (a)}}{\text{令和7年度の在学者数 (a+b)}} = \frac{0}{3} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<人文情報連係学府（修士課程）>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					の基幹教員以外を 除く(助手外)	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通基礎科目	人文情報学概論	1前	/	2				1					
	情報管理学概論	1前	/	2			1						
	データサイエンス概論	1前	/	2									1
	アカデミックプレゼンテーション	1後	/	2			21	19	4				
	小計(4科目)	-	-	8	0	0	22	20	4	0	0	1	
人文学専門科目	デジタル技術の哲学Ⅰ	1前	/	2			1						
	デジタル技術の哲学Ⅱ	1後	/	2			1						
	デジタルアーカイヴ論	1前	/	2			1						
	Digital Resources and Research	1前	/	2			1						
	デジタル資料と人文学Ⅰ	1後	/	2			1						
	デジタル資料と人文学Ⅱ	2前	/	2			1						
	デジタル資料構成論Ⅰ	1前	/	2			1						
	デジタル資料構成論Ⅱ	1後	/	2			1						
	デジタル資料構成演習Ⅰ	1前	/	2			1						
	デジタル資料構成演習Ⅱ	1後	/	2			1						
	デジタル資料構成演習Ⅲ	2前	/	2			1						
	デジタル資料分析論Ⅰ	1前	/	2			1						
	デジタル資料分析論Ⅱ	1後	/	2			1						
	デジタル資料分析演習Ⅰ	1後	/	2			1						
	デジタル資料分析演習Ⅱ	2前	/	2			1						
	デジタル視聴覚メディア論	1後	/	2			1						
	デジタル視聴覚メディア演習	2前	/	2			1						
	空間データ分析演習	1後	/	2			1						
小計(18科目)	-	-	0	36	0	10	8	0	0	0			

【令和7年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					の基幹教員以外を 除く(助手外)	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通基礎科目	人文情報学概論	1前	/	2				1					
	情報管理学概論	1前	/	2			1						
	データサイエンス概論	1前	/	2									1
	アカデミックプレゼンテーション	1後	/	2			22	18	5				
	小計(4科目)	-	-	8	0	0	23	19	5	0	0	1	
人文学専門科目	デジタル技術の哲学Ⅰ	1前	/	2			1						
	デジタル技術の哲学Ⅱ	1後	/	2			1						
	デジタルアーカイヴ論	1前	/	2			1						
	Digital Resources and Research	1前	/	2			1						
	デジタル資料と人文学Ⅰ	1後	/	2			1						
	デジタル資料と人文学Ⅱ	2前	/	2			1						
	デジタル資料構成論Ⅰ	1前	/	2			1						
	デジタル資料構成論Ⅱ	1後	/	2			1						
	デジタル資料構成演習Ⅰ	1前	/	2			1						
	デジタル資料構成演習Ⅱ	1後	/	2			1						
	デジタル資料構成演習Ⅲ	2前	/	2			1						
	デジタル資料分析論Ⅰ	1前	/	2			1						
	デジタル資料分析論Ⅱ	1後	/	2			1						
	デジタル資料分析演習Ⅰ	1後	/	2			1						
	デジタル資料分析演習Ⅱ	2前	/	2			1						
	デジタル視聴覚メディア論	1後	/	2			1						
	デジタル視聴覚メディア演習	2前	/	2			1						
	空間データ分析演習	1後	/	2			1						
小計(18科目)	-	-	0	36	0	11	7	0	0	0			

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					の基幹教員以外を教員(助手)を除く
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
情報科学専門科目	図書館マネジメント論	1前	/		2			1				
	図書館行政論	1前	/		1							2
	文書記録マネジメント論	1前	/		2		1					
	文書記録管理政策論	1前	/		2							1
	文書記録資料論	1前	/		2							1
	構造化文書運用演習	1前	/		2							1
	学術情報流通論	1前	/		1							1
	情報マネジメント論	1前	/		2		1					
	LSS特別講義1	1前	/		1		1					
	学習科学	1前	/		2							1
	図書館と立法調査	1前	/		2			1				
	電子資料開発論	1後	/		2			1				
	レファレンスサービス論	1後	/		2			1				
	ライブラリー資料論	1後	/		2		1					
	文書記録活動論	1後	/		2			1				
	文書記録特殊資料論	1後	/		2			1				
	文書記録サービス論	1後	/		2		1					
LSS特別講義2	1後	/		2			1					
現代情報法制論	1後	/		1							1	
情報サービスと著作権	2前	/		2							1	
データマイニング	2前	/		2							1	
情報セキュリティ論	2前	/		1			1					
小計(22科目)	-	-	-	0	39	0	5	8	0	0	0	10
情報科学専門科目	データサイエンス演習Ⅰ	1前	/		2			1				
	データサイエンス演習Ⅱ	1後	/		2			1				
	データベース演習	1前	/		2			1				
	数理統計	1後	/		2		1					
	情報評価分析論	1前	/		2							1
	データサイエンス実践Ⅰ	1前	/		2			1				
	データサイエンス実践Ⅱ	1後	/		1			1				
	データサイエンス実践Ⅲ	2前	/		2							1
データサイエンス発展Ⅰ	2前	/		2							1	
データサイエンス発展Ⅱ	2前	/		1							1	
小計(10科目)	-	-	-	0	18	0	1	5	0	0	0	4

【令和7年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					の基幹教員以外を教員(助手)を除く
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
情報科学専門科目	図書館マネジメント論	1前	/		2				1			
	図書館行政論	1前	/		1							2
	文書記録マネジメント論	1前	/		2			1				
	文書記録管理政策論	1前	/		2							1
	文書記録資料論	1前	/		2							1
	構造化文書運用演習	1前	/		2							1
	学術情報流通論	1前	/		1							1
	情報マネジメント論	1前	/		2			1				
	LSS特別講義1	1前	/		1			2	1			
	学習科学	1前	/		2							1
	言説分析	1後	/		2				1			
	電子資料開発論	1後	/		2				1			
	レファレンスサービス論	1後	/		2				1			
	ライブラリー資料論	1後	/		2			1				
	文書記録活動論	1後	/		2				1			
	文書記録特殊資料論	1後	/		2				1			
	文書記録サービス論	1後	/		2			1				
LSS特別講義2	1後	/		2				1	1			
現代情報法制論	1後	/		1							1	
情報サービスと著作権	2前	/		2							1	
データマイニング	2前	/		2							1	
情報セキュリティ論	2前	/		1				1				
小計(22科目)	-	-	-	0	39	0	7	9	0	0	0	10
情報科学専門科目	データサイエンス演習Ⅰ	1前	/		2				1			
	データサイエンス演習Ⅱ	1後	/		2				1			
	データベース演習	1前	/		2				1			
	数理統計	1後	/		2			1				
	情報評価分析論	1前	/		2							1
	データサイエンス実践Ⅰ	1前	/		2				1			
	データサイエンス実践Ⅱ	1後	/		1				1			
	データサイエンス実践Ⅲ	2前	/		2							1
データサイエンス発展Ⅰ	2前	/		2							1	
データサイエンス発展Ⅱ	2前	/		1							1	
小計(10科目)	-	-	-	0	18	0	1	5	0	0	0	4

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					の基幹教員以外の教員(助手を除く)
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
実践科目	インターンシップ データサイエンスプレゼンテーション	2前	2				1					
		2後	2									2
	小計(2科目)	-	-	4	0	0	0	1	0	0	0	2
論文指導	論文指導	2後	2				24	26				
	小計(1科目)	-	-	2	0	0	24	26	0	0	0	0
	合計(57科目)	-	-	14	93	0	62	68	4	0	0	17

卒業要件及び履修方法

【修了要件】

修士課程に2年以上在学し、以下の34単位以上を修得し、かつ修士論文審査及び最終試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については、修士課程に1年以上在学すれば足りるものとする。

- 共通基礎科目 8単位
- 専門科目 20単位(人文学、情報科学(情報管理学)、情報科学(データサイエンス)の各専門科目は各4単位以上を必修とする)
※人文学的視点の体系的かつ効果的な学習が可能になるよう、人文科学府人文基礎専攻、歴史空間論専攻、言語・文学専攻の開設科目の中から、指導チームの教員による履修指導の上、自分の関心と必要に応じて履修科目を選択し、8単位を越えない範囲で「専門科目」の単位とすることができる。
- 実践科目 4単位
- 論文指導 2単位

【令和7年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					の基幹教員以外の教員(助手を除く)
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
実践科目	インターンシップ データサイエンスプレゼンテーション	2前	2					1				
		2後	2									2
	小計(2科目)	-	-	4	0	0	0	1	0	0	0	2
論文指導	論文指導	2後	2				25	26				
	小計(1科目)	-	-	2	0	0	25	26	0	0	0	0
	合計(57科目)	-	-	14	93	0	67	67	5	0	0	17

卒業要件及び履修方法

【修了要件】

修士課程に2年以上在学し、以下の34単位以上を修得し、かつ修士論文審査及び最終試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については、修士課程に1年以上在学すれば足りるものとする。

- 共通基礎科目 8単位
- 専門科目 20単位(人文学、情報科学(情報管理学)、情報科学(データサイエンス)の各専門科目は各4単位以上を必修とする)
※人文学的視点の体系的かつ効果的な学習が可能になるよう、人文科学府人文基礎専攻、歴史空間論専攻、言語・文学専攻の開設科目の中から、指導チームの教員による履修指導の上、自分の関心と必要に応じて履修科目を選択し、8単位を越えない範囲で「専門科目」の単位とすることができる。
- 実践科目 4単位
- 論文指導 2単位

(注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以前については、改正前様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
- 「基幹教員等の配置」欄は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等の配置」としてください。
- 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員(助手を除く)」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員以外の教員(助手を除く)」としてください。
- 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て(基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)以外の教員(助手を除く)(改正後大学設置基準等の適用以前は兼任、兼担教員)が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。
その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字の赤字**としてください。
なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、「認可時又は届出時」の「主要授業科目」欄は削除し、「基幹教員等の配置」欄は「専任教員等の配置」、「基幹教員以外の教員(助手を除く)」欄は「兼任・兼担」としてください。その上で、各年度については、「基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)数」は、認可時又は届出時の「専任教員」数との比較において変更となっている箇所、「基幹教員以外の教員(助手を除く)(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員以外の教員(助手を除く)」)数」は、認可時又は届出時の「兼任・兼担」数との比較において変更となっている箇所を**赤字の赤字**としてください。
(専任教員から基幹教員に変更したことをもって赤字の赤字とする必要はありません。)
- 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
- 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
- 不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
- 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
- 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。
その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。
新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。
(例:記載順)【認可時又は届出時】→【令和7年度(新)】→【令和6年度(新)】→【令和5年度】→【令和4年度】→【令和7年度(旧)】→【令和6年度(旧)】

(1) ①授業科目表に関する変更内容

【令和7年度】

- 担当教員の退職、昇任及び就任のため、「アカデミックプレゼンテーション」の専任教員等の配置を「教授21」「准教授19」「講師4」から「教授22」「准教授18」「講師5」に変更
- 担当教員の退職及び変更のため、「デジタル資料分析論Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- 教育体制の充実のため、「LSS特別講義Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」「准教授1」に変更。
- より授業内容に合致した名称にするため、「図書館と立法調査」の科目名を「言説分析」に変更し、配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- 教育体制の充実のため、「LSS特別講義Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」「准教授1」に変更。
- 担当教員の退職、昇任及び就任のため、「論文指導」の専任教員等の配置を「教授24」「准教授26」から「教授25」「准教授26」に変更。

- (注) ・ 2(1)-① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、基幹教員等の配置の変更、主要授業科目の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。
変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。また、改正後大学設置基準(令和4年10月1日施行)の適用により、専任教員から基幹教員に変更した場合(例:「専任教員 教授1」から「基幹教員 教授1」に変更)や、兼任・兼担教員から基幹教員以外の教員に変更した場合(例:「兼任教員1」から「基幹教員以外の教員1」に変更)については、記入しないでください。
 - 不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。
 - 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
7 科目	50 科目	0 科目	57 科目	7 科目 [0]	50 科目 [0]	0 科目 [0]	57 科目 [0]	

- (注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

(注)・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

(注)・設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{57} = \boxed{0}\%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	借用団地等の減(7)		
	校舎敷地	2,273,413㎡	0㎡	0㎡	2,273,413㎡			
	その他	73,432,966㎡ 73,632,002㎡	0㎡	0㎡	73,432,966㎡ 73,632,002㎡			
	合計	75,706,379㎡ 75,905,415㎡	0㎡	0㎡	75,706,379㎡ 75,905,415㎡			
(2) 校舎	専 用	649,941㎡ 648,535㎡	0㎡	0㎡	649,941㎡ 648,535㎡	改修及び区分見直し等による変更(7)		
	(648,535㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(648,535㎡)				
	講義室	347室 346室	114室	353室 359室	56室 54室			
(3) 講義室等・新設研究科等の専任教員研究室		講義室	実験・実習室	演習室	新設研究科等の専任教員研究室	用途変更による修正(7) 令和7年3月に就任予定の准教授が退職。 令和7年4月に専任准教授2名、講師1名を新規採用のため(7)		
(4) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書		学術雑誌		機械・器具	標本	
		〔うち外国書〕	電子図書	〔うち外国書〕	電子ジャーナル			
	大学全体	冊	〔うち外国書〕	種	〔うち外国書〕	点	7,434,882	除却及び新規購入による変更(7)
		4,331,103 〔1,873,609〕 4,314,083 〔1,837,428〕	81,325 〔67,777〕 79,963 〔67,275〕	122,955 〔77,782〕 116,855 〔72,393〕	45,221 〔43,630〕 40,049 〔38,482〕	71 70		
		(4,331,103 〔1,873,609〕) -(4,314,083 〔1,837,428〕)	(81,325 〔67,777〕) -(79,963 〔67,275〕)	(122,955 〔77,782〕) -(116,855 〔72,393〕)	(45,221 〔43,630〕) -(40,049 〔38,482〕)	(71) 〔70〕		
計	冊	〔うち外国書〕	種	〔うち外国書〕	点	7,434,882	(7,432,882)	
	4,331,103 〔1,873,609〕 4,314,083 〔1,837,428〕	81,325 〔67,777〕 79,963 〔67,275〕	122,955 〔77,782〕 116,855 〔72,393〕	45,221 〔43,630〕 40,049 〔38,482〕	71 70			
		(4,331,103 〔1,873,609〕) -(4,314,083 〔1,837,428〕)	(81,325 〔67,777〕) -(79,963 〔67,275〕)	(122,955 〔77,782〕) -(116,855 〔72,393〕)	(45,221 〔43,630〕) -(40,049 〔38,482〕)	(71) 〔70〕		
(5) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	学生1人当り納付金	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円
		第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注)・設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の2)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・「(4)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・校舎等建物の計画の変更(校舎の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・国立大学については「(5)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称		九州大学							収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	3
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度			
共創学部					学士(学術)				平成30年度	福岡県福岡市西区元岡744		
共創学科	4	105		420		1.12	1.01					
文学部					学士(文学)					福岡県福岡市西区元岡744		
人文学科	4	151		604		1.14	1.08		平成12年度			
教育学部	4	46		184	学士(教育学)	1.10	1.09		昭和24年度	福岡県福岡市西区元岡744		
法学部	4	189		756	学士(法学)	1.10	1.06		昭和24年度	福岡県福岡市西区元岡744		
経済学部					学士(経済学)					福岡県福岡市西区元岡744		
経済・経営学科	4	141		564		1.09	1.06		平成12年度			
経済工学科	4	85	3年次	10	360	1.13	1.07		昭和52年度			
理学部					学士(理学)					福岡県福岡市西区元岡744		
物理学科	4	55		220		1.14	1.09		昭和24年度			
化学科	4	62		248		1.13	1.07		昭和24年度			
地球惑星学科	4	45		180		1.13	1.11		平成2年度			
数学科	4	50	3年次	5	210	1.15	1.10		昭和24年度			
生物学科	4	46		184		1.15	1.10		昭和24年度			
医学部										福岡県福岡市東区高出3丁目1番1号		
医学科	6	105		651	学士(医学)	1.07	1.03	令和2年度	昭和24年度		令和2年度より入学定員変更(△1)	
								令和4年度			令和5年度より入学定員変更(△5)	
生命科学科	4	12		48	学士(生命科学)	1.16	1.09		平成19年度			
保健学科	4	134		536	学士(保健学) 学士(看護学)	1.04	1.03		平成14年度			
歯学部					学士(歯学)					福岡県福岡市東区高出3丁目1番1号		
歯学科	6	53		318		1.04	0.98		昭和42年度			
薬学部										福岡県福岡市東区高出3丁目1番1号		
創薬科学科	4	49		196	学士(創薬科学)	1.07	1.04		平成18年度			
臨床薬学科	6	30		180	学士(薬学)	1.04	1.04		平成18年度			

工学部				学士 (工学)			福岡県福岡市西区元岡744
電気情報工学科	4	153	612		1.03	1.01	令和3年度
材料工学科	4	53	212		1.00	1.00	令和3年度
応用化学科	4	72	288		1.10	1.09	令和3年度
化学工学科	4	38	152		1.01	0.99	令和3年度
			3年次				
融合基礎工学科	4	57	20	268	1.04	1.01	令和3年度
機械工学科	4	135		540	1.06	1.04	令和3年度
航空宇宙工学科	4	29		116	1.09	1.08	令和3年度
量子物理工学科	4	38		152	1.10	1.01	令和3年度
船舶海洋工学科	4	34		136	1.02	0.95	令和3年度
地球資源システム工学科	4	34		136	0.95	-	令和3年度
土木工学科	4	77		308	1.06	1.06	令和3年度
建築学科	4	58		232	1.05	1.02	令和3年度
芸術工学部				学士 (芸術工学)			福岡県福岡市南区塩原4丁目9番1号
芸術工学科	4	187		748	1.10	1.07	令和2年度
農学部				学士 (農学)			福岡県福岡市西区元岡744
生物資源環境学科	4	226		904	1.11	1.08	平成10年度
大学全体	-	2,549	70	10,657	-	-	

(注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあつては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）

なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。

- ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「入学定員超過率」及び「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。
- ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
- ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。

- 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
- ・本年度A Cの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
- ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
- 開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和8年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
- ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
- なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
- ・「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
- ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
- ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。
- 詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教育研究実施組織の状況

<人文情報連係学府（修士課程）>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	西岡 宜明 <令和7年4月> 博士(文学)
		アカデミックプレゼンテーション 論文指導
専	教授 (学 府 長)	遠城 明雄 <令和7年4月> 博士(文学)
		アカデミックプレゼンテーション 論文指導
専	教授	小黒 康正 <令和7年4月> 博士(文学)
		アカデミックプレゼンテーション デジタル資料と人文学 I 論文指導
専	教授	清水 和裕 <令和7年4月> 博士(文学)
		アカデミックプレゼンテーション 論文指導
専	教授	鶴飼 信光 <令和7年4月> 文学修士
		アカデミックプレゼンテーション 論文指導
専	教授	上山 あゆみ <令和7年4月> Ph.D. in Linguistics (米国)
		アカデミックプレゼンテーション 論文指導
専	教授	静永 健 <令和7年4月> 博士(文学)
		アカデミックプレゼンテーション 論文指導

【令和7年度】

教員 区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	西岡 宜明 <令和7年4月> 博士(文学)
		アカデミックプレゼンテーション 論文指導
専	教授 (学 府 長)	遠城 明雄 <令和7年4月> 博士(文学)
		アカデミックプレゼンテーション 論文指導
専	教授	小黒 康正 <令和7年4月> 博士(文学)
		アカデミックプレゼンテーション デジタル資料と人文学 I 論文指導
専	教授	清水 和裕 <令和7年4月> 博士(文学)
		アカデミックプレゼンテーション 論文指導
専	教授	鶴飼 信光 <令和7年4月> 文学修士
		アカデミックプレゼンテーション 論文指導
専	教授	上山 あゆみ <令和7年4月> Ph.D. in Linguistics (米国)
		アカデミックプレゼンテーション 論文指導
専	教授	静永 健 <令和7年4月> 博士(文学)
		アカデミックプレゼンテーション デジタル資料分析論II 論文指導

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	森平 雅彦 <令和7年4月> 博士(文学)
		アカデミックプレゼンテーション デジタル資料構成演習Ⅲ 論文指導
専	教授	横田 理博 <令和7年4月> 博士(文学)
		アカデミックプレゼンテーション 論文指導
専	教授	Anton Schweizer <令和7年4月> PH. D. magna cum laude (ドイツ)
		アカデミックプレゼンテーション Digital Resources and Research 論文指導
専	教授	南澤 良彦 <令和7年4月> 博士(文学)
		アカデミックプレゼンテーション 論文指導
専	教授	高木 信宏 <令和7年4月> 博士(文学)
		アカデミックプレゼンテーション デジタル資料分析演習Ⅱ 論文指導
専	教授	倉田 剛 <令和7年4月> 博士(文学)
		アカデミックプレゼンテーション デジタル技術の哲学Ⅱ 論文指導
専	教授	川平 敏文 <令和7年4月> 博士(文学)
		アカデミックプレゼンテーション デジタル資料分析演習Ⅰ 論文指導
専	教授	青木 博史 <令和7年4月> 博士(文学)
		アカデミックプレゼンテーション 論文指導

教員 区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	森平 雅彦 <令和7年4月> 博士(文学)
		アカデミックプレゼンテーション デジタル資料構成演習Ⅲ 論文指導
専	教授	横田 理博 <令和7年4月> 博士(文学)
		アカデミックプレゼンテーション 論文指導
専	教授	Anton Schweizer <令和7年4月> PH. D. magna cum laude (ドイツ)
		アカデミックプレゼンテーション 論文指導
専	教授	南澤 良彦 <令和7年4月> 博士(文学)
		アカデミックプレゼンテーション 論文指導
専	教授	高木 信宏 <令和7年4月> 博士(文学)
		アカデミックプレゼンテーション デジタル資料分析演習Ⅱ 論文指導
専	教授	倉田 剛 <令和7年4月> 博士(文学)
		アカデミックプレゼンテーション デジタル技術の哲学Ⅱ 論文指導
専	教授	川平 敏文 <令和7年4月> 博士(文学)
		アカデミックプレゼンテーション デジタル資料分析演習Ⅰ 論文指導
専	教授	青木 博史 <令和7年4月> 博士(文学)
		アカデミックプレゼンテーション 論文指導

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	大西 克智 <令和7年4月> Ph. D. Philosophy (フランス)
		アカデミックプレゼンテーション 論文指導
専	教授	片岡 啓 <令和7年4月> 博士(文学)
		アカデミックプレゼンテーション デジタル資料構成演習Ⅱ 論文指導
専	教授	高野 泰志 <令和7年4月> 博士(人間・環境学)
		アカデミックプレゼンテーション デジタル資料分析論Ⅰ 論文指導
専	教授	辻田 淳一郎 <令和7年4月> 博士(比較社会文化)
		アカデミックプレゼンテーション 空間データ分析演習 論文指導
専	教授	下地 理則 <令和7年4月> Ph. D. in Linguistics (オーストラリア)
		アカデミックプレゼンテーション デジタル資料構成演習Ⅰ 論文指導
専	教授	足立 孝 <令和7年4月> 博士(歴史学)
		アカデミックプレゼンテーション 論文指導
専	教授	富浦 洋一 <令和7年4月> 博士(工学)
		数理統計 論文指導
専	教授	藤岡 健太郎 <令和7年4月> 博士(比較社会文化)
		情報管理学概論 文書記録マネジメント論 文書記録サービス論 論文指導

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	大西 克智 <令和7年4月> Ph. D. Philosophy (フランス)
		アカデミックプレゼンテーション 論文指導
専	教授	片岡 啓 <令和7年4月> 博士(文学)
		アカデミックプレゼンテーション デジタル資料構成演習Ⅱ 論文指導
専	教授	高野 泰志 <令和7年4月> 博士(人間・環境学)
		アカデミックプレゼンテーション デジタル資料分析論Ⅰ 論文指導
専	教授	辻田 淳一郎 <令和7年4月> 博士(比較社会文化)
		アカデミックプレゼンテーション 空間データ分析演習 論文指導
専	教授	下地 理則 <令和7年4月> Ph. D. in Linguistics (オーストラリア)
		アカデミックプレゼンテーション デジタル資料構成演習Ⅰ 論文指導
専	教授	足立 孝 <令和7年4月> 博士(歴史学)
		アカデミックプレゼンテーション 論文指導
専	教授	富浦 洋一 <令和7年4月> 博士(工学)
		LSS特別講義1 数理統計 論文指導
専	教授	藤岡 健太郎 <令和7年4月> 博士(比較社会文化)
		情報管理学概論 文書記録マネジメント論 文書記録サービス論 論文指導

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	石田 栄美 <令和7年4月> 博士(情報科学)
		情報マネジメント論 LSS特別講義1 ライブラリー資料論 論文指導
専	准教授	中島 楽章 <令和7年4月> 博士(文学)
		アカデミックプレゼンテーション 論文指導
専	准教授	岩崎 義則 <令和7年4月> 博士(文学)
		アカデミックプレゼンテーション デジタル資料構成論I 論文指導
専	准教授	東口 豊 <令和7年4月> 博士(文学)
		アカデミックプレゼンテーション デジタル視聴覚メディア論 論文指導
専	准教授	VAN GOETHEM ELLEN ELZA MELINA ALBERT <令和7年4月> Doctor in Oriental Languages and Cultures (ベルギー)
		アカデミックプレゼンテーション 論文指導
専	准教授	吉原 雅子 <令和7年4月> 博士(人文科学)
		アカデミックプレゼンテーション デジタル技術の哲学I 論文指導
専	准教授	小笠原 弘幸 <令和7年4月> 博士(文学)
		アカデミックプレゼンテーション デジタル資料構成論II 論文指導
専	准教授	小野 容照 <令和7年4月> 博士(文学)
		アカデミックプレゼンテーション 論文指導

教員 区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	石田 栄美 <令和7年4月> 博士(情報科学)
		情報マネジメント論 LSS特別講義1 LSS特別講義2 ライブラリー資料論 論文指導
専	准教授	中島 楽章 <令和7年4月> 博士(文学)
		アカデミックプレゼンテーション 論文指導
専	准教授	岩崎 義則 <令和7年4月> 博士(文学)
		アカデミックプレゼンテーション デジタル資料構成論I 論文指導
専	准教授	東口 豊 <令和7年4月> 博士(文学)
		アカデミックプレゼンテーション デジタル視聴覚メディア論 論文指導
専	教授	VAN GOETHEM ELLEN ELZA MELINA ALBERT <令和7年4月> Doctor in Oriental Languages and Cultures (ベルギー)
		アカデミックプレゼンテーション Digital Resources and Research 論文指導
専	准教授	吉原 雅子 <令和7年4月> 博士(人文科学)
		アカデミックプレゼンテーション デジタル技術の哲学I 論文指導
専	准教授	小笠原 弘幸 <令和7年4月> 博士(文学)
		アカデミックプレゼンテーション デジタル資料構成論II 論文指導
専	准教授	小野 容照 <令和7年4月> 博士(文学)
		アカデミックプレゼンテーション 論文指導

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	藤井 倫明 <令和7年4月> 博士(文学)
		アカデミックプレゼンテーション デジタル資料と人文学Ⅱ 論文指導
専	准教授	伊藤 拓真 <令和7年4月> Ph.D. Art History (イタリア)
		アカデミックプレゼンテーション 論文指導
専	准教授	岡田 貴憲 <令和7年4月> 博士(文学)
		アカデミックプレゼンテーション 論文指導
専	准教授	宮崎 海子 <令和7年4月> Doctorat d' Histoire et Sé miologie du Texte et de l' Image (フランス)
		アカデミックプレゼンテーション デジタル視聴覚メディア演習 論文指導
専	准教授	荒木 和憲 <令和7年4月> 博士(文学)
		アカデミックプレゼンテーション 論文指導
専	准教授	今井 宏昌 <令和7年4月> 博士(学術)
		アカデミックプレゼンテーション デジタルアーカイヴ論 論文指導
専	准教授	前田 雅子 <令和7年4月> 博士(文学)
		アカデミックプレゼンテーション 論文指導
専	准教授	太田 真理 <令和7年4月> 博士(学術)
		アカデミックプレゼンテーション 論文指導

教員 区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	藤井 倫明 <令和7年4月> 博士(文学)
		アカデミックプレゼンテーション デジタル資料と人文学Ⅱ 論文指導
専	准教授	伊藤 拓真 <令和7年4月> Ph.D. Art History (イタリア)
		アカデミックプレゼンテーション 論文指導
専	准教授	岡田 貴憲 <令和7年4月> 博士(文学)
		アカデミックプレゼンテーション 論文指導
専	准教授	宮崎 海子 <令和7年4月> Doctorat d' Histoire et Sé miologie du Texte et de l' Image (フランス)
		アカデミックプレゼンテーション デジタル視聴覚メディア演習 論文指導
専	准教授	荒木 和憲 <令和7年4月> 博士(文学)
		アカデミックプレゼンテーション 論文指導
専	准教授	今井 宏昌 <令和7年4月> 博士(学術)
		アカデミックプレゼンテーション デジタルアーカイヴ論 論文指導
専	准教授	前田 雅子 <令和7年4月> 博士(文学)
		アカデミックプレゼンテーション 論文指導
専	准教授	太田 真理 <令和7年4月> 博士(学術)
		アカデミックプレゼンテーション 論文指導

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	CARTER CALEB <令和7年4月> Ph. D. in Asian Languages and Cultures (米国)
		アカデミックプレゼンテーション 論文指導
専	准教授	伊藤 千尋 <令和7年4月> 博士(地域研究)
		アカデミックプレゼンテーション データサイエンス実践Ⅰ 論文指導
専	准教授	中川 奈津子 <令和7年4月> 博士(人間環境学)
		人文情報学概論 データサイエンス演習Ⅰ データサイエンス演習Ⅱ データサイエンス実践Ⅱ インターンシップ 論文指導
専	准教授	井口 千雪 <令和7年4月> 博士(文学)
		アカデミックプレゼンテーション デジタル資料分析論Ⅱ 論文指導
専	准教授	田口 武史 <令和7年4月> 博士(文学)
		アカデミックプレゼンテーション 論文指導
専	准教授	清水 敏之 <令和7年4月> 博士(情報学)
		LSS特別講義2 情報セキュリティ論 データベース演習 論文指導
専	准教授	渡邊 由紀子 <令和7年4月> 博士(学術)
		図書館マネジメント論 レファレンスサービス論 論文指導

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	CARTER CALEB <令和7年4月> Ph. D. in Asian Languages and Cultures (米国)
		アカデミックプレゼンテーション 論文指導
専	准教授	伊藤 千尋 <令和7年4月> 博士(地域研究)
		アカデミックプレゼンテーション データサイエンス実践Ⅰ 論文指導
専	准教授	中川 奈津子 <令和7年4月> 博士(人間環境学)
		人文情報学概論 データサイエンス演習Ⅰ データサイエンス演習Ⅱ データサイエンス実践Ⅱ インターンシップ 論文指導
専	准教授	田口 武史 <令和7年4月> 博士(文学)
		アカデミックプレゼンテーション 論文指導
専	准教授	鈴木 舞 <令和7年4月> 博士(文学)
		アカデミックプレゼンテーション 論文指導
専	准教授	清水 敏之 <令和7年4月> 博士(情報学)
		LSS特別講義1 LSS特別講義2 情報セキュリティ論 データベース演習 論文指導
専	准教授	渡邊 由紀子 <令和7年4月> 博士(学術)
		図書館マネジメント論 レファレンスサービス論 論文指導

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	大賀 哲 <令和7年4月> Ph.D. in Ideology and Discourse Analysis (英国)
		図書館と立法調査 論文指導
専	准教授	赤司 友徳 <令和7年4月> 博士(文学)
		文書記録活動論 論文指導
専	准教授	木土 博成 <令和7年4月> 博士(文学)
		文書記録特殊資料論 論文指導
専	准教授	谷口 雄太 <令和7年4月> 博士(情報科学)
		電子資料開発論 論文指導
専	講師	國分 航士 <令和7年4月> 博士(文学)
		アカデミックプレゼンテーション
専	講師	Yang Yu <令和7年4月> 博士(哲学)
		アカデミックプレゼンテーション
専	講師	Weiss David <令和7年4月> Doctor of Philosophy (ドイツ)
		アカデミックプレゼンテーション

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	大賀 哲 <令和7年4月> Ph.D. in Ideology and Discourse Analysis (英国)
		言説分析 論文指導
専	准教授	赤司 友徳 <令和7年4月> 博士(文学)
		文書記録活動論 論文指導
専	准教授	木土 博成 <令和7年4月> 博士(文学)
		文書記録特殊資料論 論文指導
専	准教授	谷口 雄太 <令和7年4月> 博士(情報科学)
		電子資料開発論 論文指導
専	准教授	内林 俊洋 <令和7年4月> 博士(情報科学)
		論文指導
専	講師	國分 航士 <令和7年4月> 博士(文学)
		アカデミックプレゼンテーション
専	講師	Yang Yu <令和7年4月> 博士(哲学)
		アカデミックプレゼンテーション
専	講師	Weiss David <令和7年4月> Doctor of Philosophy (ドイツ)
		アカデミックプレゼンテーション

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	古川 大悟 <令和7年4月> 博士(人間・環境学)
		アカデミックプレゼンテーション
専他	教授	内田 誠一 <令和7年4月> 博士(工学)
		データサイエンス概論 データサイエンス発展Ⅱ データサイエンスプレゼンテーショ ン
専他	教授	備瀬 竜馬 <令和7年4月> 博士(学際情報学)
		データサイエンス発展Ⅰ データサイエンスプレゼンテーショ ン
専他	教授	中村 知靖 <令和7年4月> 博士(教育学)
		情報評価分析論
専他	准教授	池田 大輔 <令和7年4月> 博士(理学)
		データマイニング
専他	准教授	牛尼 剛聡 <令和7年4月> 博士(工学)
		構造化文書運用演習
専他	准教授	成原 慧 <令和7年4月> 博士(社会情報学)
		現代情報法制論

教員 区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	古川 大悟 <令和7年4月> 博士(人間・環境学)
		アカデミックプレゼンテーション
専	講師	内田 教士 <令和7年4月> 博士(文学)
		アカデミックプレゼンテーション
専他	教授	内田 誠一 <令和7年4月> 博士(工学)
		データサイエンス概論 データサイエンス発展Ⅱ データサイエンスプレゼンテーショ ン
専他	教授	備瀬 竜馬 <令和7年4月> 博士(学際情報学)
		データサイエンス発展Ⅰ データサイエンスプレゼンテーショ ン
専他	教授	中村 知靖 <令和7年4月> 博士(教育学)
		情報評価分析論
専他	准教授	池田 大輔 <令和7年4月> 博士(理学)
		データマイニング
専他	教授	牛尼 剛聡 <令和7年4月> 博士(工学)
		構造化文書運用演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専他	助教	WU MENGRO <令和7年4月> 博士(文学)
		データサイエンス実践Ⅲ
その他	教授	竹内 比呂也 <令和7年4月> 文学修士
		図書館行政論
その他	教授	永利 和則 <令和7年4月> 人間科学修士
		図書館行政論
その他	教授	針谷 武志 <令和7年4月> 文学修士
		文書記録管理政策論
その他	准教授	大浦 弘樹 <令和7年4月> Ph.D. in Learning Sciences (米国)
		学習科学
その他	講師	松林 麻実子 <令和7年4月> 修士(図書館情報学)
		学術情報流通論
その他	非常勤講師	佐俣 孝男 <令和7年4月> 高等学校卒
		文書記録資料論

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専他	准教授	西村 友海 <令和7年4月> 修士(法学)
		現代情報法制論
専他	助教	WU MENGRO <令和7年4月> 博士(文学)
		データサイエンス実践Ⅲ
その他	教授	竹内 比呂也 <令和7年4月> 文学修士
		図書館行政論
その他	教授	永利 和則 <令和7年4月> 人間科学修士
		図書館行政論
その他	教授	針谷 武志 <令和7年4月> 文学修士
		文書記録管理政策論
その他	教授	大浦 弘樹 <令和7年4月> Ph.D. in Learning Sciences (米国)
		学習科学
その他	講師	松林 麻実子 <令和7年4月> 修士(図書館情報学)
		学術情報流通論
その他	非常勤講師	佐俣 孝男 <令和7年4月> 高等学校卒
		文書記録資料論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	非常 勤講 師	安東 奈穂子 <令和7年4月> 修士(法学)
		情報サービスと著作権

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	非常 勤講 師	安東 奈穂子 <令和7年4月> 修士(法学)
		情報サービスと著作権

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)(その2の2)(その2の3)に準じて作成してください。
なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以前については、改正前様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)以外の教員(助手を除く)(改正後大学設置基準等の適用以前は兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 記載は、設置認可時又は届出時における「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」に記載されている「教員区分」(改正後大学設置基準等の適用以前は「専任等区分」)の順に記入してください。
 - ・ 改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以降については、主要授業科目にあたる「担当授業科目名」に下線を引いてください。(大学院、高等専門学校は除く)
 - ・ 教員がサバティカル等で不在の期間がある場合、その期間(年月日)を上段「学位」の下へ記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリ

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和7年度】

- ・井口千雪准教授が令和7年3月退職。
- ・井口千雪准教授退職に伴い、静永健教授の担当科目に「デジタル資料分析論Ⅱ」を追加。
- ・富浦洋一教授、清水敏之准教授の担当科目に、「LSS特別講義1」を追加。
- ・石田栄美教授の担当科目に、「LSS特別講義2」を追加。
- ・VAN GOETHEM ELLEN ELZA MELINA ALBERT准教授が教授に昇任。
- ・Anton Schweizer教授に代わり、VAN GOETHEM ELLEN ELZA MELINA ALBERT教授が「Digital Resources and Research」を担当。
- ・鈴木舞准教授、内林俊洋准教授、内田敦士講師を追加。
- ・大賀哲准教授の担当科目である「図書館と立法調査」の名称を「言説分析」に変更。
- ・成原慧准教授（専他）に代わり、西村友海准教授（専他）が「現代情報法制論」を担当。
- ・牛尼剛聡准教授（専他）が教授に昇任。
- ・大浦弘樹（その他）の職名を准教授から教授に変更。

(注) 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

- ・ **認可で設置された学部等の基幹（専任）教員を変更する場合は**、当該基幹（専任）教員が授業を開始する前に必ず「基幹（専任）教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（A C教員審査）を受けてください。

原則としてA C教員審査を受けずに基幹（専任）教員として授業等を担当することは出来ません。

なお、改正前大学設置基準等に基づいて認可を受けて設置された学部等が、改正後大学設置基準等への適用のため、大学が基幹教員の要件を満たすと判断した

「専任教員」を「基幹教員」とする場合は、A C教員審査を受審する必要はない扱いとしています。（改正後大学設置基準等の適用にあたり、

「基幹教員」の担当授業科目を追加する場合、「基幹教員」の担当授業科目の内容を変更するなど、A C教員審査の受審を求めている事由が発生する場合は、A C教員審査を受審する必要があります。

- ・ A C教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。

なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。

- ・ 不要な年度（令和6年度開設であれば令和5年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
2	2	3
名	名	名

(注)・大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件(平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号)により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在(報告時)の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
24	26	4	0	54	0	25	26	5	0	56	0
(25)	(26)	(5)	0	(56)	(0)						
研究 指導 教員 数		研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究 指導 教員 数		研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
うち教 授数			うち教 授数								
50	24	4	14			51	25	5	14		
(51)	(25)	(5)	(14)								
現在(報告時)の完成年度時の状況						現在(報告時)の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
25	26	6	0	57	0	25	26	6	0	57	0
[1]	[0]	[2]	[0]	[3]	[0]	[1]	[0]	[2]	[0]	[3]	[0]
研究 指導 教員 数		研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究 指導 教員 数		研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
うち教 授数			うち教 授数								
51	25	6	14			51	25	6	14		
[1]	[1]	[2]	[0]			[1]	[1]	[2]	[0]		

(注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 ・「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、
 教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、
 「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)
 ・「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢(歳)	報告時(上記 (B))の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時(上記 (C))の教員 うち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、
 及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている
 教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段階書きで記入し、
 「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{57}{54} = 105.55\%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{0}{56} = 0\%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = -\%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 基幹（専任）教員辞任等の理由

(3) -① 基幹（専任）教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	准教授	井口 千雪	R7.4	必修	アカデミックプレゼンテーション	①	R7.3.31退職のため就任辞退（7）			
				選択	デジタル資料分析論Ⅱ	①				
				必修	論文指導	①				
合計（D）			後任補充状況の集計（E）							
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)	①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)				
1	人	必修	2	科目	必修	2	科目	必修	0	科目
		選択	1	科目	選択	1	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	3	科目	計	3	科目	計	0	科目

(注)・認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての基幹（専任）教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。

- ・「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時まで基幹（専任）教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
- ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」
- ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
合計（F）			後任補充状況の集計（G）							
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)	①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)				
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注)・一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての基幹（専任）教員について、記入してください。

- （学年進行中に基幹教員の要件を満たさなくなったことにより、基幹教員でなくなった教員についても記入してください。）
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時まで基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
- ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」
- ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)						
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)	①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)					
1	必修	2	科目	必修	2	科目	必修	0	科目
	選択	1	科目	選択	1	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	3	科目	計	3	科目	計	0	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計 (D) + (F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画 (A)}} = \frac{1}{54} = 1.85 \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 令和6年度報告書から、新たに辞任等した基幹（専任）教員等の状況

- 人

(注)・(3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した基幹（専任）教員数の合計数を記載してください。

- ・令和7年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した基幹（専任）教員に対する後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
						該当なし				
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注)・定年により退職した全ての基幹（専任）教員について、記入してください。
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」 ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 基幹（専任）教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>学外転出のため准教授1名が授業担当から外れたが、この授業科目に関しては、他の専任教員（教授）を後任として担当配置することができているため、特に影響はない。また准教授2名、講師1名が新たに専任教員に就任した。 なお、授業担当教員の変更については、学生個人に対する修学指導時に周知するとともに、学生向けWebサイトの時間割等にも掲載する。</p>

- (注)・上記（3）の基幹（専任）教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の の 実 施 計 画
	該当なし		

(注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおり記載してください。

【令和6年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「（6）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（7）」と記載してください。

【令和6年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「（6）（7）」と記載してください。

【令和7年度から新たに調査対象となった学科等又は令和6年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（7）」と記載してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<人文情報連係学府>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
特になし	特になし

(注)・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>1) 教育企画委員会【全学】</p> <p>2) 外国人教員アドバイザーグループ（SIAG）【全学】</p> <p>3) 人文情報連係学府学務委員会</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>1) 教育企画委員会【全学】 令和6年度 10回（4/18, 5/17, 6/11, 8/27, 10/17, 11/14, 12/12, 1/15, 2/13, 3/11）</p> <p>2) 外国人教員アドバイザーグループ（SIAG）【全学】 4回</p> <p>3) 人文情報連係学府学務委員会 令和7年度設置のため、まだ実施していない。委員4名</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>1) 教育企画委員会【全学】 FDに係る企画、実施及び支援に関すること。</p> <p>2) 外国人アドバイザーグループ（SIAG）【全学】 本学が国際頭脳循環のハブとして国際社会に貢献するため、本学における戦略的な国際化推進に関し、グローバル化推進本部長に意見又は提案し、取組の実施を支援すること。</p> <p>3) 人文情報連係学府学務委員会 教育に関すること、学生への経済支援に関すること、その他学務に関すること。</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容 令和7年度設置のため、まだ実施していない。</p> <p>b 実施方法 -</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む） -</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 -</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期 令和7年度設置のためまだ実施していない。令和7年度末に実施する予定。</p> <p>b 教員や学生への公開状況、方法等 -</p>

(注)・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

人文情報連係学府では、アドミッション・ポリシーに基づき、人文科学府と統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻の入学試験と連携し、「情報管理学重視型」と「人文学重視型」の二つの出願方式を設定して、修士課程の入学者選抜を4回（追加募集を含む）実施した。本専攻の定員6名に対して、2025年4月に九州大学から情報管理学重視型1名と人文学重視型2名の計3名が入学した。定員未充足の主な原因については、新学府の開学を広く周知するための時間が短かった点や、入学試験の回数が他の連係学府よりも少なかった点などがあると考えている。2024年度に4回開催した人文情報学に関するシンポジウムの終了後に、新学府説明会を実施し、毎回15名程度の参加者がいたが、それを志願者につなげることができなかった。今後、「人文情報学」人材の魅力を学内外により周知するため、シンポジウムを継続して開催すると同時に、広報の方法の再検討等を進める。

コーディネーター役の教員と複数教員による指導チーム体制を中心とした教育課程の整備と活動は、順調に進んでいると考えている。人文学と情報科学をより高い次元で融合し、それを社会実装できる人材を育成するという目的の達成に向けて、引き続き教育内容の充実を図っていく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和9年度 公表予定

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

学外の有識者5名による外部評価委員会を既に設置しており、1～2年に一度、外部評価を実施する予定である。

(注)・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和7年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト上に公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。